

あんだんて通信



新年度が始まりました！今年度もアンダンテ21にとって飛躍の一年となるよう、ご理解とご協力のほどよろしくお願ひします。

R3年度活動報告



ハマグリ稚貝調査

(水産多面的機能発揮対策事業)

チョウセンハマグリの子貝調査を、年間を通じて実施しています。ハマグリ漁場の中須海岸や、津田海岸で、子貝の生息密度や大きさをモニタリングし、データを漁業者にフィードバックすることで、資源保護につなげています。

コロナ禍における親子活動推進事業

(コロナ対策支援事業)

島根県コロナ対策支援事業の一環として、親子10名以下を対象とした自然体験型プログラムを実施しました。釣り、川遊び、ビーチコーミング、きのこ狩りなど8回のプログラムを行い、参加者からは好評を得ました。



環境教育活動

(みーもスクール等)

小学校や高等学校での環境学習を、50回以上も行いました。川や海でのフィールド学習をはじめ、森林学習や環境問題についての講義等、地域環境を通じて子供たちに郷土愛を育んでもらえる教育活動を展開しています。



お仕事の依頼をお待ちしています！

活動継続のための予算確保に毎年苦勞している当法人ですが、補助金、助成金、寄付金等に頼った資金繰りでは、絶対に長続きはしません。もちろん、ボランティアでは思ふような活動は出来ません。NPOでも「収益化」が課題となっています。講師派遣、ネイチャーガイド、調査・コンサルティングなどの業務依頼を募集しています。

益田川石倉かご調査

(水産多面的機能発揮対策事業)

益田川の津村橋上流で、石倉かごを用いた水生生物量の定点調査を行いました。本調査は5年目を迎えますが、すでに開始時から生物相の変化が現れてきています。今後も調査を継続し、益田川の環境再生活動にフィードバックしていきたいと思ひます。



どんぐりの植林事業

(どんぐりの森づくり事業)

島根県企業局の委託により、二条植林地に植林を行いました。安田小学校5年生および吉賀高校2年生と、二条地域の皆さんで協力し、クヌギとコナラの苗木200本を植林しました。

益田川下流再生事業

(水産多面的機能発揮対策事業)

当法人と漁業者で作る「益田川と海をつなぐ自然環境保全活動組織」として、益田川下流域でのヨシ刈取り、一斉清掃等を行いました。11月23日に行われた秋季一斉清掃では、一般参加者や小学生、漁業者が協力して、下流域のゴミを一掃しました。毎年のゴミ量も減少してきており、継続の成果が出てきていると感じます。



第12回ハマグリ貝アート展

(水産多面的機能発揮対策事業)

第12回目となるハマグリ貝アート展を、12/8～12/12にグラントワ多目的ギャラリーで開催しました。200点を超える多くの力作が集まりました。また、コロナ禍の状況を考え、インターネット上でのWeb展示も併せて実施しました。

メールアドレスのご提供のお願い

活動の案内等、メーリングリストでメールを流しているのですが、おそらくスマホへの移行などに伴い、届いていない方が多くなりました。つきましては、現在使っているメールアドレスを、お手数ですが下記までご連絡ください。(メールが届いている方は連絡不要です) andante2100@gmail.com

年間行事予定

今年度の主なイベント予定(案)

日にち	イベント内容	時間と会場
4月28日(木)	アンダンテ21総会	18:30よりアンダンテ事務所にて
5月26日(木)	益田川と海をつなぐ自然環境保全活動組織総会	17:30よりアンダンテ事務所にて
6月上旬～中旬	交流イベント(海の命をいただく会)	コロナの状況をみて検討
6月下旬	どんぐり植栽地草刈り	二条、横田植林地
6月17日(金)	手長エビとり大会(交流イベント)	19:00より高津川にて
7月14日(木)	石倉かご設置	15:00 津村橋にて
7月下旬～8月上旬	川ガキ講座MINI	匹見にて公民館と共同開催
7月31日	子供海体験in飯浦	青年会議所と共同開催
8月11日(祝)	ハマグリ稚貝調査	津田海岸にて
8月20日(土)	第一回石倉カゴ調査	10:00より津村橋にて
9月中旬	ハマグリアート展募集開始	作品受付開始
9月11日	海ガキプロジェクト	飯浦漁港(予備日18日)
9月下旬	第二回石倉カゴ調査	津村橋にて
10月	どんぐり植林・間伐	二条植林地にて
11月上旬	益田川ヨシ刈り取り	月見橋上流のヨシ刈作業
11月23日(祝)	益田川一斉清掃	8:30より清掃開始
12月17日～21日	第13回ハマグリ貝アート展	グラントワ多目的ギャラリーにて
12月21日	忘年会	アート展撤収後事務所にて
1月21日(土)	冬季益田川一斉清掃	8:30より清掃開始

- ・ハマグリ稚貝調査を年4回程度実施。
- ・必要に応じて、臨時総会を開催。
- ・小学校や高校での環境教育(室内講義、フィールドでの生物採取、ゴミ調査、森林学習等)を年50回程度実施。(どんぐりの森づくり、みもスクール 他)
- ・ネイチャーガイド事業を随時実施
- ・他、講師やコンサルティングなどの委託業務を随時実施。
- ・会員主催の交流イベント等、提案があれば随時実施。

新型コロナウイルスの影響はまだまだ続きそうです。

梅雨時期以降の新型コロナウイルスの収束状況によって、予定および予算が大幅に変更されることが予想されます。

あくまで現段階でのスケジュール案です。

正式な日時が決定し次第、逐次ご連絡いたしますので、スケジュール調整をお願いします。

2022年度 アンダンテ21通常総会のご案内

年度初めの総会を下記の通り開催いたします。会員の皆様には是非ご出席いただきますよう、よろしくお願いいたします。当日のご都合がつかない正会員様におかれましては、お手数ですが必ず同封の委任状をご提出いただきますようお願いいたします。コロナ禍のご時世なので、この度も、当法人主催で懇親会等は行えませんが、ご了承ください。

【日時】 4月28日(木) 18:30～20:00

【会場】 アンダンテ21事務所(駐車場が少ないのでご配慮ください)

メンバーズ・コラム

益田の漂着物①「アオイガイ」 理事長 佐々木 隆志

漂着物といえはまず海岸漂着ゴミを思い浮かべますが、この問題を考えていくためにも自然本来の美しい漂着物をこの紙面を借りて紹介をしていきたいと思えます。

アオイガイは冬の日本海を代表する美しい漂着物です。貝と名前が付きますが一般に考える貝とは異なり、カイダコというタコのメスが作る産卵のための殻です。益田市では主に年末から翌2月頃にかけて漂着がみられ、時に大量漂着することがあります。



本来フィリピンなど南の海に棲んでいる浮遊性のタコですが、対馬暖流に乗って日本海を北上するうちに海水温の低下とともに動けなくなって海岸漂着してしまうと考えられています。もともとの日本海では北陸方面までの漂着でしたが、近年海水温の上昇によってか北海道までも届くようになってきました。

生態については謎の多いアオイガイですが、日本近海で見つかるのはほとんどが殻を持ったメスだけであることがわかっています。アオイガイに限らず浮遊性のタコのオスはメスに比べて非常に小さく、精子嚢を持った交接腕とよばれる腕をメスの胎内に差し込み、先を切り離します。交接腕はその後もメスの胎内で生き続け精子を供給します。生体が残ったまま漂着したアオイガイでは殻に大量の卵が付着していることがありますが、ふ化直前から未受精のものまで異なった受精段階の卵が同一卵塊内に存在する不思議が観察できます。交接腕は非常に小さなもので殻に貼り付いていたり卵塊の中に潜り込んでいたりするようですが、残念ながら益田市に漂着したものでは未だ確認ができておらず課題となっています。皆さんもこの不思議で美しいアオイガイを探してみませんか。

事務局ニュース

葉末貴昭さん、ありがとうございました。

3年間に渡り、事務局の非常勤職員として勤務された、葉末貴昭さんが、3月をもって退職されました。今年度からは、再び小学校教諭として、教壇に立たれます。葉末さんには、事務局の経理・労務業務だけではなく、日々の活動や令和元年度の匹見事業の中心として、大変尽力いただきました。今後の活躍を、お祈りいたします。

新しい活動拠点を探しています。

現在のアンダンテ事務所は、市有の建物を無料で借用していますが、老朽化により取り壊しが決まりました。今年度中に、新しい活動拠点を探さなければなりません。つきましては、新しい事務局兼倉庫について、無料もしくは低価格で借用できる建物について、お心あたりがあれば是非ご紹介ください。

新規会員募集中

活動の拡大のため、新規会員や協賛企業を募集しています。会員の皆様におかれましても、お声掛けにご協力ください。会員募集と申し込み用紙の資料は事務所にございます。
個人年会費 10000円(正会員)、3000円(賛助会員) 企業協賛金 一口50000円

お問い合わせ

発行元: NPO法人アンダンテ21事務局
〒690-0032 益田市水分町18-10
TEL/FAX: 0856-24-8661
E-mail: andante2100@gmail.com

